

チームトレーナー配置について

1 本大会は、試合中に限り、チームトレーナーがフロア面（コントロールエリア外）に入ることができる。

- ① チームにつき1名、チームトレーナーを申請することができる。
- ② 申請方法は専用の申請用紙を事前にデータで提出し、代表者会議の受付で原本を提出する。
- ③ 大会が始まってからの申請や、申請後の変更は認めない。
- ④ 該当試合の前に所定の場所に置かれたビブスを着用し、指定された場所に座る。
※ADを必ず身につけておくこと。
- ⑤ ビブスを着用しなければ、コート面に入ることはいできない。
- ⑥ 試合終了後は、速やかにビブスを【所定の場所】に返却する。

※チームトレーナーがいないチームの選手が怪我した際は、長崎県が配置したトレーナーの処置を受けることができる。（各会場に長崎県バレーボール協会が配置したトレーナーがいます。）

2 トレーナーの処置については以下の通りとする。

- ① 怪我が発生した際、コート主任（開催地競技部）がその場いき、状況を把握する。
- ② コート主任（開催地競技部）より、指示を受け、派遣された医師（看護師）とトレーナーが2人で対応する。
- ③ 怪我の状況を見て、処置について協議を行い、処置にとりかかる。
- ④ 怪我の状況を、監督に伝える。

3 以下のルールを守り、違反が発覚した際はフロア面に降りることはできなくなる。

- ① トレーナーは試合中、各コート後方の指定されたチーム席に座ること。
- ② 必要に応じて選手に施術することができるが、施術はフェンス外の施術エリアで行う。
- ③ コントロールエリア内、ウォーミングアップゾーンにいる選手に施術をすることができない。
- ④ チームへの戦術伝達や応援をすることはできない。
- ⑤ 競技役員の指示に従うこと。

4 コートレイアウト図

● は、トレーナー待機場所

■ は、施術エリア

